

基本目標 1 お互いにつながり支え合える

施策	主な取組	目標とする指標	数値目標		
			実績		
			令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)
(1)地域包括支援センターの運営	①圏域型地域包括支援センターの設置	圏域型地域包括支援センター設置数（か所）	4	5	5
		目標設定理由	4	—	—
	②地域包括支援センターの周知	市広報誌やホームページ等の多様な媒体で周知を行う	定性評価		
		目標設定理由	1-(1)-②		
	③地域包括支援センターの適切な運営及び評価	地域包括支援センター業務評価表に基づく適切な評価	定性評価		
		目標設定理由	1-(1)-③		
	④地域ケア会議の推進	地域ケア会議開催数（回）	84	84	84
		目標設定理由	87	—	—
			多職種が連携し個別課題から地域課題への解決につなげるために継続して開催する必要がある。		
(2)高齢者の生活支援体制整備の推進	①生活支援コーディネーターの配置及び協議体の設置	協議体の設置数（か所）	12	18	23
			7	—	—
		第1層協議体参画団体等と協働した企画および実施回数（回）	9	10	12
			22	—	—
		目標設定理由	地域課題について、住民等と地域資源を活用した取組を協議することによって、地域づくりにつなげる。		
(3)認知症施策の推進	①普及啓発・本人発信支援	認知症サポーター養成講座受講者数（人）	29,000	32,000	35,000
		目標設定理由	25,801	—	—
	②医療・ケア・介護サービス・介護者への支援	認知症カフェ登録数（か所）	27	29	30
			25	—	—
		家族教室実施回数（回）	12	12	12
			15	—	—
		目標設定理由	認知症の人の介護者の負担軽減を推進、かつ、本人の発信や社会参加を支援するため。		
	③認知症バリアフリーの推進・若年性認知症の人への支援・社会参加支援	認知症バリアフリーの推進・若年性認知症の人への支援・社会参加支援	1-(3)-③	—	—
		目標設定理由	見守りや支援体制の整備に努める。		

施策	主な取組	目標とする指標	数値目標		
			実績		
			令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)
(4)在宅療養の推進	①切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進	多職種連携会議の実施回数(回)	3	4	6
		目標設定理由	2		
	②医療・介護関係者の情報共有の支援	多職種をつなぎスムーズに連携を行うシステム活用事例の情報提供(件)	1	2	2
		目標設定理由	2		
	③在宅医療・介護連携に関する相談支援	相談件数(件)	40	60	80
		目標設定理由	35		
	④地域住民への普及啓発	出前講座・ACPセミナー参加者数(人)	100	150	200
		目標設定理由	167	—	—

施策・取組	評価内容
I-(1)-②	市広報誌やホームページ等を通じた多角的な情報発信により、地域包括支援センターの認知度が向上しました。この取り組みを通じて、センターへの問い合わせ件数が増加し、市民の関心が高まっていることを実感しています。
I-(1)-③	地域包括支援センターの業務評価については、地域包括支援センター業務評価表に基づき、自己点検及び評価結果を茨木市地域包括支援センター運営協議会に報告しています。 令和6年度の業務内容については、国から示された新たな評価指標に基づき、適切な評価を行っています
I-(3)-③	「茨木市認知症高齢者見守り事業」については、各所での啓発を行うとともに、実際に行方不明になり警察に保護された人への利用促進を図り、既に利用されている人には利用状況の確認をおこなった結果、新規登録者の増加に寄与しました。 今後の課題として、認知症の方々の社会参加を促進するには、地域で活動する人材の育成や認知症の方々が安心して活動できる「居場所」づくりを一層推進する必要があります。

基本目標2 健康にいきいきと自立した日常生活を送れる

施策	主な取組	目標とする指標	数値目標		
			実績		
			令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)
(1)介護予防・生活支援サービス事業の取組の推進	①訪問型サービスの展開	訪問型サービスAの利用者数(人)	18	18	18
			24	—	—
		訪問型サービスBの利用者数(人)	4	4	4
			6	—	—
		訪問型サービスCの利用者数(%)	20	20	20
			10	—	—
		目標設定理由	要支援1, 2の人の利用者割合の増加をめざす。		
	②通所型サービスの展開	通所型サービスCの利用者数(人)	132	140	140
			114	—	—
		目標設定理由	短期集中介護予防サービス利用者数により、介護予防の把握と評価につながる。		
	③介護予防ケアマネジメントの展開	介護予防ケアマネジメント研修の開催回数(回)	3	3	3
			3	—	—
		ケアプラン点検のうち要支援者等の点検件数(件)	50	50	50
			60	—	—
		新規要介護認定者の要介護度改善率(%)	30	30	30
			2-(1)-③	—	—
		目標設定理由	適切な介護予防ケアマネジメントを実施することが、健康で自立した生活を支援することにつながる。		
	④栄養改善型配食の実施	実利用者数(人)	165	180	180
			73	—	—
		目標設定理由	低栄養等栄養改善が必要な人の食事支援ができているかの評価につながる。		
(2)一般介護予防事業の推進	①地域リハビリテーション活動支援事業の展開	同行訪問実人数(人)	584	642	706
			286	—	—
		通いの場(か所)	20	20	20
			7	—	—
		目標設定理由	リハビリテーション職による介護予防の実施及び評価により、一層の介護予防の取組につながる。		
	②短期集中運動教室の実施	実利用者数(人)	240	270	270
			255	—	—
		目標設定理由	短期集中型でセルフマネジメント力の推進をめざす。		
	③地域での介護予防の取組の周知・啓発	元気いばらきマップ掲載箇所(か所)	150	180	200
			170	—	—
		目標設定理由	住民主体による活動を広く周知し、仲間づくりと介護予防をめざす。		
	④はつらつ出張講座による支援	講座の実施数(回)	320	350	385
			311	—	—
		目標設定理由	地域における住民主体の介護予防活動を支援し、地域全体での介護予防の意識醸成をめざす。		

施策	主な取組	目標とする指標	実績		
			令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)
(3)高齢者の保健事業と介護予防事業等との一体的な実施	①高齢者に対する個別的支援（ハイリスクアプローチ）	保健指導実施率（％）	100	100	100
			100	—	—
		受療率（％）	30	30	30
			52.9	—	—
		翌年度健診結果改善率（％）	70	70	70
			※継続支援中	—	—
		目標設定理由	保健指導による受療開始および健診データの改善をめざす。		
	②専門職による通いの場でのポピュレーションアプローチ	実施した通いの場数（回）	75	80	83
			324	—	—
		参加人数（人）	1,800	1,900	2,000
			4,931	—	—
		目標設定理由	活動範囲を広げるとともに活動の定着をめざす。		
(4)要介護高齢者等の自立・家族介護等への支援の推進	①高齢者福祉タクシー料金助成事業	利用人数（人）	2,280	2,280	2,280
			2,308	—	—
		目標設定理由	高齢者の外出を促進し、閉じこもりの防止、日常生活の利便性の向上と社会参加につなげる。		
	②高齢者紙おむつ等支給事業	利用人数（人）	240	288	288
			353	—	—
		目標設定理由	家族の経済的・身体的・精神的な負担軽減を図り、要介護者の在宅生活の継続をめざす。		
	③高齢者ごいっしょサービス事業	利用人数（人）	30	30	30
			11	—	—
		目標設定理由	認知症高齢者の外出機会を促進し、高齢者及びその家族が安心した生活を送れる体制をめざす。		
	④ひとり暮らし高齢者等日常生活支援事業（ちょこっとサービス）	利用人数（人）	70	80	90
			50	—	—
		目標設定理由	高齢者の日常生活支援の利用状況について評価ができる。		

施策・取組	評価内容
2-(1)-③	新規要介護認定者改善率に関しては、当初計画していたシステムより、効果的に使える内容に見直している段階であり、今後は正確なデータ収集を行い、分析できる仕組みづくりを進めます。

基本目標3 憩える 参加できる 活躍できる

施策	主な取組	目標とする指標	数値目標		
			実績		
			令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)
(1)地域活動・社会参加の促進	①高齢者活動支援センター シニアプラザ いばらきでの各種事業の実施	シニアマイスター登録派遣事業、高齢者いきがいワーカーズ支援事業、茨木シニアカレッジ「いこいこ未来塾」	3-(1)-①	—	—
		目標設定理由	シニアプラザ各種事業において、高齢者の居場所と出番の創出・充実、社会参加の促進、地域活動の担い手育成に取り組む。		
	②老人クラブ活動の支援	老人クラブ活動の支援	3-(1)-②	—	—
		目標設定理由	老人クラブ活動を支援することで、高齢者の生きがいづくり、健康づくり、仲間づくりを促進する。		
	③シニアいきいき活動ポイント事業の実施	活動延べ人数（人）	10,000	11,000	12,000
			7,259		
		目標設定理由	活動延べ人数により活動量を確認し、社会貢献による生きがいづくりや介護予防に努めている人の増加をめざす。		
(2)身近な「居場所」の整備	①街かどデイハウス事業とコミュニティデイハウス事業の実施	街かどデイハウス事業とコミュニティデイハウス事業の実施	3-(2)-①	—	—
		目標設定理由	人材確保等、既存の事業所の運営を支援し、地域における身近な介護予防拠点の維持をめざす。		
	②いきいき交流広場の実施	利用者数（人）	35,000	36,000	37,000
			42,238		
		目標設定理由	利用者数を増やし、「身近な居場所」を活性化させることで、高齢者の交流等の促進を図る。		
(3)世代間交流の取組	①多世代交流センター事業の実施	利用者数（人）	76,000	78,000	80,000
			85,756		
		世代間交流事業の参加者数（人）	2,800	3,000	3,200
			2,918		
		目標設定理由	多世代交流センター利用者や世代間交流事業の参加者数の増加により、世代間交流の取組の推進をめざす。		
(4)高齢者の「働く場」の創造	①シルバー人材センターの取組	登録会員数（人）	1,690	1,701	1,712
			1,735		
		目標設定理由	就労や就労を通じた生きがいづくり、地域社会への貢献に意欲のある高齢者が増えることをめざす。		
	②高齢者の多様な働き方の創造	高齢者の多様な働き方の創造	3-(4)-②	—	—
		目標設定理由	高齢者ニーズに沿った多様な働き方ができることをめざす。		

施策・取組	評価内容
3-(1)-①	高齢者活動支援センターでは、コロナ禍で中止していた高齢者社会参加啓発事業を5年ぶりに実施したほか、茨木シニアカレッジ「いこいこ未来塾」においては、講座修了後の地域活動への参加を促すため、昨年度初の試みとして、地域別に受講生同士の交流促進を図る取組を実施しました。 高齢者や高齢者団体が地域社会、地域活動の担い手として活躍できるよう支援し、支え手となる高齢者の創出を目指して各種事業を実施しています。
3-(1)-②	老人クラブの会員数は減少傾向にありますが、茨木市老人クラブ連合会では、各校区の老人クラブと共催し、老人クラブ会員が参加しやすいよう各地域で様々な行事を実施しています。 身近な地域での活動は、地域のつながりづくりや健康づくり、生きがいづくりになるため、引き続き、これらの活動を支援します。
3-(2)-①	街かどデイハウスからコミュニティデイハウスへの転換は、移転先の確保が困難なため実現できませんでした。また、コミュニティデイハウスでは、専門職による介護予防講座や体力測定を実施し、介護予防の取組を支援しました。今後もコミュニティデイハウスが介護予防の拠点として役割を継続できるよう支援します。
3-(4)-②	「認知症と社会参加」をテーマに、発症後も社会参加できる体制構築を目指し、第1層協議体の参画団体を対象に、講演とグループワークを通じて考える機会を設けました。

基本目標4 一人ひとりの権利が尊重される

施策	主な取組	目標とする指標	実績		
			令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)
(1)虐待防止対策の推進	①高齢者虐待防止及び啓発への取組	ラッピングバスによる啓発の実施	4-(1)-①	—	—
		目標設定理由	一人でも多くの人に高齢者虐待、児童虐待、DV、障害者虐待の防止に関心を持ってもらう。		
	②虐待への対応	虐待への対応	4-(1)-②	—	—
		目標設定理由	通告に対して、すべての事案に対応している。		
(2)権利擁護の推進	①高齢者権利擁護の推進	高齢者権利擁護の推進	4-(1)-③	—	—
		目標設定理由	財産上の不当取引による高齢者の被害の防止及び救済を図り、それにより高齢者の自己決定権の尊重と権利の擁護をめざす。		

施策・取組	評価内容
4-(1)-①	市内を運行する公共バスを利用して、高齢者虐待、児童虐待、障害者虐待、DVの防止を啓発するラッピングバスを継続して運行することで、多くの方々の虐待防止への意識向上を促進しています。
4-(1)-②	虐待の通報があった場合には、地域包括支援センター等と連携し、全ての事案について支援策を検討し、迅速な対応に努めています。
4-(2)-③	成年後見制度利用の必要性があるにもかかわらず、審判の申立てができない高齢者等について市長が申立てを行うことで、その人らしい生活を送ることができるよう支援しました。 また、成年後見制度の利用促進を図るため、成年後見審判の申立てに要する費用、成年後見人等に支払う報酬の助成を行いました。引き続き制度の周知、費用等の助成を行うことで、制度の利用支援を推進します。

基本目標5 情報を活かして、安全・安心に暮らせる

施策	主な取組	目標とする指標	数値目標		
			実績		
			令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)
(1)災害・感染症発生時の備え	①災害時における支援体制の強化	要配慮者避難施設数（か所）	69	72	74
		目標設定理由	70		
			身近な地域で配慮が必要な方を受け入れられる施設が増えることで、災害時等においても高齢者の安心・安全な生活をめざす。		
	②感染症対策の介護事業所等との連携・周知啓発・研修・訓練の実施	周知啓発の実施	5-(1)-①	—	—
		目標設定理由	感染症対策を講じるように法令等で定められていることから、集団指導や運営指導等を通じて周知啓発を行い、事業所に非常時の体制整備を促す。		
(2)情報公表制度の推進	①事業者情報の公表	ほっとナビ閲覧数（回）	10,000	11,000	12,000
			18,039	—	—
		目標設定理由	地域資源情報を必要とする人に提供することで、安心・安全に暮らすことができるようにする。		
(3)安心して暮らせる環境の充実	①緊急通報装置設置事業	利用人数（人）	560	560	560
			617	—	—
		目標設定理由	急病等の緊急事態に適切な対応を図り、高齢者の福祉の増進につなげる。		
	②ひとり暮らし高齢者及び高齢者世帯の見守り体制の推進	ひとり暮らし高齢者及び高齢者世帯の見守り体制の推進	5-(3)-②	—	—
		目標設定理由	不測の事態でも、対応できる体制の構築が求められるため。		
(4)高齢者の居住の安定に係る施策	①高齢者世帯家賃助成事業	家賃補助を行うことで、高齢者の暮らしを支援します	5-(4)-①	—	—
		目標設定理由	高齢者の居住の安定と福祉の向上を図る。		
	②シルバーハウジング生活援助員派遣事業	生活援助員から毎月報告書の提出を求め、居住する高齢者が安心した生活が送れるように支援する	5-(4)-②	—	—
		目標設定理由	高齢者の安全かつ快適な在宅生活を支援する。		
	③高齢者の居住に関する情報提供	情報提供の実施	5-(4)-③	—	—
		目標設定理由	住宅型有料老人ホーム等の情報を提供することで、高齢者のニーズに合った施設の選定の手助けができる。		

施策	主な取組	目標とする指標	数値目標		
			実績		
			令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)
(5)高齢者が安心して暮らせるためのICTの活用推進	①高齢者のICT活用の推進	スマートフォン利用率(%)	80	90	100
			—	—	—
		介護予防等に関する動画閲覧数(動画視聴回数)	20,000	30,000	40,000
			10,272	—	—
		高齢者活動支援センター・多世代交流センターでの講座実施回数(回)	24	30	36
			22		
		目標設定理由	・スマホ利用率及び必要な情報へのアクセス数により高齢者のICT活用状況を把握する。※ニーズ調査での計測が必要。 ・高齢者活動支援センター、多世代交流センターでのスマホ講座やキャッシュレス講座の実施により、高齢者のICT活用を推進する。		

施策・取組	評価内容
5-(1)-②	法令により感染症対策を講じることが定められていることから、集団指導や運営指導において周知しています。 また、感染症などの情報について、ケア倶楽部等で適宜情報提供を行い、啓発を行っています。
5-(3)-②	ひとり暮らし高齢者等に対して、緊急連絡先及び居住実態等の調査を行い、不測の事態に陥った場合に親族等への連絡が速やかに行えるよう、体制構築に努めています。 また、生活支援体制整備事業に係る第1層協議体の参加団体と締結した「茨木市協力事業者による高齢者見守り事業」により、高齢者等の見守りを引き続き実施しました。
5-(4)-①	低所得高齢者世帯の経済的な負担を軽減するとともに、住居の安定が図られるよう、家賃助成を行いました。
5-(4)-②	生活援助員が利用者宅を訪問し相談に応じることで、健康状態や生活の様子を直接確認でき、利用者が安心した生活を送れるよう努めています。
5-(4)-③	本市に所在する有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅等、高齢者が安心して暮らせる住まいに関する情報を提供しています。 また、利用者が安全・安心な住環境で暮らせるように、有料老人ホーム及びサービス付き高齢者向け住宅に対する指導及び助言等を行っています。

基本目標 6 持続可能な社会保障を推進する

施策	主な取組	目標とする指標	実績		
			令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)
(1)介護保険制度の適正・円滑な運営	①介護サービス基盤の計画的な整備	施設整備数（地域密着型特養・グループホーム・小規模多機能）（か所）	4	2	2
			1	—	—
		特定施設入居者生活介護の整備（床数）	434	60	60
			292	—	—
		目標設定理由	施設整備を計画的に進めることで、できる限り住み慣れた地域での生活を維持できるようにする。		
	②介護保険サービスに対する相談体制の充実	介護サービス相談員数（人）	19	21	21
			17	—	—
		訪問施設数（か所）	41	43	44
			43	—	—
		目標設定理由	サービス利用者等の話を聞くことにより、利用者の疑問や不安の解消を図るとともに、派遣を受けた事業所の介護サービスの質的な向上を図ることができる。		
	③介護保険サービス提供事業者等への指導・監査	運営指導件数（件）	120	120	120
			142		
		目標設定理由	定期的に指導監査を実施することで、提供されるサービスの質の担保と、事業所の継続的な運営、サービス提供基盤が維持できることをめざす。		
	④地域包括ケアシステムを支える人材の確保及び資質の向上	事故報告のフィードバック（年2回実施）	2	2	2
			2	—	—
		認定審査の効率化（結果通知までの日数）	6-(1)-④	—	—
		府が実施する業務効率化に関するワンストップ窓口の周知	6-(1)-④	—	—
		目標設定理由	重大事故の発生原因や内容を共有することで、同類の介護事故を未然に防止し、サービスの質の向上につなげる。認定審査の効率化を図り、利用者が適正に介護保険制度を利用できるように結果通知までの日数を短縮する。		

施策	主な取組	目標とする指標	数値目標		
			実績		
			令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)
(2)介護給付適正化事業の推進(第6期介護給付適正化計画)	①要介護認定の適正化	認定調査事後点検率(%)	100	100	100
			100	—	—
		目標設定理由	正確な認定調査を維持することで、介護保険制度を持続することができる。		
	②ケアプランの点検・住宅改修・福祉用具貸与等の点検	ケアプラン点検数(回)	200	200	200
			209	—	—
		住宅改修の点検数(回)	36	36	36
			37	—	—
		福祉用具貸与の点検回数(回)	1	1	1
			1	—	—
		目標設定理由	適正な介護給付を実施することで、介護保険制度の持続可能性を高める。		
	③医療情報との突合・縦覧点検	医療情報との突合回数(回)	12	12	12
			12	—	—
		縦覧点検回数(回)	12	12	12
			12	—	—
		目標設定理由	適正な介護給付を実施することが、介護保険制度の持続可能性を高めるため。		

施策・取組	評価内容
6-(1)-④ 認定審査の効率化	認定調査業務の一部を事務受託法人に委託し、業務の安定化を図ってまいりました。今後においては、年間を通じた調査実施体制のさらなる強化を目指し、効率的かつ安定的な業務を進めてまいります。
6-(1)-④ ワンストップ窓口の周知	令和6年度から、大阪府が業務効率化に関する取り組みを始めており、本市でも市ホームページ等で当該取り組みについて周知しております。

1 実施スケジュール

令和7年2月	アンケートの概要と実施方針について分科会で報告
8月	アンケートの設問（案）を分科会にて報告
8月末以降	アンケート調査に関する国の方針が公開される見込み ◆ 調査項目のうち、必須項目・オプション項目は国の実施方針に合わせて修正します。
10月	・アンケート調査票（最終案）を分科会にて報告 ◆ 8月分科会で報告した設問案に対し、委員の皆さまからの意見や、庁内各部署の意見を踏まえた「最終案」を作成し、報告予定です。 ◆ 10月分科会で出た意見については、アンケート調査のスケジュールに影響ない範囲で、可能な限り取り入れます。 ・関係機関へアンケートの実施について協力依頼
11月下旬	アンケート調査票を発送
12月下旬	アンケート調査の回収期限
令和8年2月ごろ	調査結果（速報値）を分科会にて報告予定
3月下旬	アンケート調査結果報告書が完成予定

2 新規で設定する設問

- ・ 新規項目は別紙「調査票案」の末尾にまとめて記載しています。
 - ・ 回答の選択肢等は、アンケート業務委託業者とも調整し変更する場合があります。
- (1) 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査
- ◆ 【設問の分類】フレイル認知度、家庭での健康管理、スマートフォンの利用、終活、在宅医療の認知度と利用、医介連携
 - ◆ 「スマートフォンの利用」の設問は、本市デジタル戦略課とも連携し、実施するものです。
→高齢者のスマホ利用率向上のため、施策検討の根拠資料としても活用します。
 - ◆ 「終活」の設問は、今年度から市福祉部や健康医療部など関係部署が参画し、設置した「終活プロジェクトチーム」における施策検討へ活用します。
- (2) 在宅介護実態調査
- ◆ 【設問の分類】主な介護者について、在宅医療の認知度と利用、人生の最期について
 - ◆ 前回実施した介護家族の就労に関する設問に加え、在宅医療、自宅での看取りに関する項目を中心に追加しています。
- (3) 介護保険事業者調査（介護人材実態調査）
- ◆ 新規設問は、現時点では予定しておりません。
 - ◆ 前回から引き続き、介護事業所における人材確保や、看取りの体制に関する項目を中心に調査します。

「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」アンケート項目（案）

資料2－2

※「必須項目」は国から示された項目のため設問・回答の変更不可。「オプション項目」も同様。

No		大設問	種別	設問	回答	分類	備考
問1	Q1	回答者の属性	市独自	性別をおたずねします。	1. 男性 2. 女性	家族や生活状況	
問1	Q2	回答者の属性	市独自	年齢は、次のどれにあてはまりますか。	1. 65～69歳 2. 70～74歳 3. 75～79歳 4. 80～84歳 5. 85～89歳 6. 90歳以上	家族や生活状況	
問1	Q3	回答者の属性	市独自	（新規） あなたのお住まいの町名を教えてください。	（町・丁目を記入）	家族や生活状況	R4新規
問1	Q4	回答者の属性	必須	家族構成をお教えてください。	1. 1人暮らし 2. 夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上) 3. 夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下) 4. 息子・娘との2世帯 5. その他	家族や生活状況	
問1	Q5	介護・介助の状況について	必須	あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。	1. 介護・介助は必要ない 2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない 3. 現在、何らかの介護を受けている(介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)	家族や生活状況	
問1	Q5-1	介護・介助の状況について	オプション	主にどなたの介護、介助を受けていますか。	1. 配偶者(夫・妻) 2. 息子 3. 娘 4. 子の配偶者 5. 孫 6. 兄弟・姉妹 7. 介護サービスのヘルパー 8. その他	家族や生活状況	
問1	Q6	介護・介助の状況について	必須	現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。	1. 大変苦しい 2. やや苦しい 3. ふつう 4. ややゆとりがある 5. 大変ゆとりがある	家族や生活状況	
問2	Q1	体を動かすことについて	必須	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない	からだを動かすこと	
問2	Q2	体を動かすことについて	必須	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない	からだを動かすこと	
問2	Q3	体を動かすことについて	必須	15分位続けて歩いていますか。	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない	からだを動かすこと	
問2	Q4	体を動かすことについて	市独自	現在、あなたはどのくらいの頻度で運動をしていますか。	1. 週5日以上 2. 週3～4日 3. 週2日 4. 週1日 5. 月1～3日 6. 月1日未満 7. 全く運動していない	からだを動かすこと	R4新規
問2	Q6	体を動かすことについて	必須	過去1年間に転んだ経験がありますか。	1. 何度もある 2. 1度ある 3. ない	からだを動かすこと	
問2	Q7	体を動かすことについて	必須	転倒に対する不安は大きいですか。	1. とても不安である 2. やや不安である 3. あまり不安でない 4. 不安でない	からだを動かすこと	
問2	Q8	体を動かすことについて	必須	週に1回以上は外出していますか。	1. ほとんど外出しない 2. 週1回 3. 週2～4回 4. 週5回以上	からだを動かすこと	
問2	Q9	体を動かすことについて	市独自	あなたは普段どれくらいの範囲まで歩いて出かけますか。	1. 歩いて5分以内 2. 歩いて15分以内 3. 歩いて30分以内 4. 歩いて45分以内 5. 歩いて1時間以内 6. 歩いて1時間以上	からだを動かすこと	R4新規
問2	Q10	体を動かすことについて	必須	昨年と比べて外出の回数が減っていますか。	1. とても減っている 2. 減っている 3. あまり減っていない 4. 減っていない	からだを動かすこと	

No		大設問	種別	設問	回答	分類	備考
問2	Q11	体を動かすことについて	オプション	外出を控えていますか。	1. はい 2. いいえ	からだを動かすこと	
問2	Q11-1	体を動かすことについて	市独自	外出を控えている理由は、次のどれですか。	1. 病気のため 2. 障害のため 3. 足腰などの痛みの不安 4. トイレの心配(失禁など) 5. 外での楽しみがない 6. 経済的に出られない 7. 交通手段がない 8. 階段等、段差が多く移動しにくい 9. 外出するための移動手段がない 10. 車や自転車の通行が多く移動しにくい 11. 近く買い物等ができる場所がない 12. 趣味や娯楽を楽しめる場所がない 13. コロナ感染の不安のため 14. その他	からだを動かすこと	
問2	Q12	体を動かすことについて	オプション	外出する際の移動手段は何ですか。	1. 徒歩 2. 自転車 3. バイク 4. 自動車(自分で運転) 5. 自動車(人に乗せてもらう) 6. 電車 7. 路線バス 8. 病院や施設のバス 9. 車いす 10. 電動車いす(カート) 11. 歩行器・シルバーカー 12. タクシー 13. その他	からだを動かすこと	
問3	Q1	食えることについて	必須	身長・体重	(身長と体重を記入)	食えること	
問3	Q2	食えることについて	オプション	6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。	1. はい 2. いいえ	食えること	R4新規
問3	Q3	食えることについて	必須	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。	1. はい 2. いいえ	食えること	
問3	Q4	食えることについて	必須	歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。	1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用 2. 自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし 3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用 4. 自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし	食えること	
問3	Q5	食えることについて	必須	どなたかと食事をともにする機会がありますか。	1. 毎日ある 2. 週に何度かある 3. 月に何度かある 4. 年に何度かある 5. ほとんどない	食えること	
問3	Q6	食えることについて	市独自	1日の食事回数は何回ですか。	1. 1日3回 2. 1日2回 3. 1日1回 4. その他	食えること	R4新規
問3	Q7	食えることについて	市独自	食生活を改善してみようと思いますか。	1. 既に改善に取り組んでいる(6カ月以上) 2. 既に改善に取り組んでいる(6カ月未満) 3. 近いうち(1カ月以内)に改善するつもり 4. そのうち(6カ月以内)に改善するつもり 5. 改善するつもりはない	食えること	R4新規
問4	Q1	毎日の生活について	必須	物忘れが多いと感じますか。	1. はい 2. いいえ	毎日の生活	
問4	Q2	毎日の生活について	必須	バスや電車を使って1人で外出していますか(自家用車でも可)。	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない	毎日の生活	
問4	Q3	毎日の生活について	必須	自分で食品・日用品の買物をしていますか。	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない	毎日の生活	
問4	Q4	毎日の生活について	必須	自分で食事の用意をしていますか。	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない	毎日の生活	
問4	Q4-1	毎日の生活について	市独自	食事の確保はどのようにしていますか。	1. 家族が買い物や調理をしている 2. ヘルパーが買い物や調理をしている 3. デイサービス利用時に食事が提供されている 4. 配食サービスを利用している 5. その他	毎日の生活	
問4	Q5	毎日の生活について	必須	自分で請求書の支払いをしていますか。	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない	毎日の生活	

No		大設問	種別	設問	回答	分類	備考
問4	Q6	毎日の生活について	必須	自分で預貯金の出し入れをしていますか。	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない	毎日の生活	
問4	Q7	毎日の生活について	オプション	新聞、本、雑誌を読んでいますか。	1. はい 2. いいえ	毎日の生活	
問4	Q9	毎日の生活について	オプション	趣味・生きがいがありますか。	1. 趣味・生きがいあり 2. 思いつかない	毎日の生活	
問4	Q10	毎日の生活について	市独自	次の情報通信機器のうち日常生活でよく使用しているものはありますか。	1. 固定電話 2. 携帯電話 3. スマートフォン 4. タブレット端末 5. パソコン 6. その他 7. 使用していない	毎日の生活	
問4	Q11	毎日の生活について	市独自	日常生活で困りごとがありますか。	1. 買い物 2. 通院の付き添い 3. 外出先への同行 4. 最寄駅までの送迎 5. 洗濯物を干す・取り込む 6. ゴミ出し 7. 電球の取替え 8. 家具などの重い物の移動 9. 調理 10. 安否確認と声掛け 11. 話し相手や相談相手 12. 部屋の掃除・片付け 13. その他 14. 特に困りごとはない	毎日の生活	R4新規
問5	Q1①	地域での活動について	必須	「ボランティアのグループ」にどのくらいの頻度で参加していますか。	1. 週4回以上 2. 週2～3回 3. 週1回 4. 月1～3回 5. 年に数回 6. 参加していない	地域での活動	
問5	Q1②	地域での活動について	必須	「スポーツ関係のグループやクラブ」にどのくらいの頻度で参加していますか。	1. 週4回以上 2. 週2～3回 3. 週1回 4. 月1～3回 5. 年に数回 6. 参加していない	地域での活動	
問5	Q1③	地域での活動について	必須	「趣味関係のグループ」にどのくらいの頻度で参加していますか。	1. 週4回以上 2. 週2～3回 3. 週1回 4. 月1～3回 5. 年に数回 6. 参加していない	地域での活動	
問5	Q1④	地域での活動について	必須	「学習・教養サークル」にどのくらいの頻度で参加していますか。	1. 週4回以上 2. 週2～3回 3. 週1回 4. 月1～3回 5. 年に数回 6. 参加していない	地域での活動	
問5	Q1⑤	地域での活動について	必須	「(いきいき交流広場、街かどデイハウス、コミュニティデイハウスなど)介護予防のための通いの場」にどのくらいの頻度で参加していますか。	1. 週4回以上 2. 週2～3回 3. 週1回 4. 月1～3回 5. 年に数回 6. 参加していない	地域での活動	
問5	Q1⑥	地域での活動について	必須	「老人クラブ」にどのくらいの頻度で参加していますか。	1. 週4回以上 2. 週2～3回 3. 週1回 4. 月1～3回 5. 年に数回 6. 参加していない	地域での活動	
問5	Q1⑦	地域での活動について	必須	「町内会・自治会」にどのくらいの頻度で参加していますか。	1. 週4回以上 2. 週2～3回 3. 週1回 4. 月1～3回 5. 年に数回 6. 参加していない	地域での活動	
問5	Q1⑧	地域での活動について	必須	「収入のある仕事」にどのくらいの頻度で行っていますか。	1. 週4回以上 2. 週2～3回 3. 週1回 4. 月1～3回 5. 年に数回 6. 参加していない	地域での活動	
問5	Q2	地域での活動について	必須	地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。	1. 是非参加したい 2. 参加してもよい 3. 参加したくない 4. 既に参加している	地域での活動	

No		大設問	種別	設問	回答	分類	備考
問5	Q3	地域での活動について	必須	地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか。	1. 是非参加したい 2. 参加してもよい 3. 参加したくない 4. 既に参加している	地域での活動	
問5	Q3-1	地域での活動について	市独自	地域づくりの活動に参加した際、報酬は必要だと思いますか。	1. はい 2. いいえ	地域での活動	
問5	Q4	地域での活動について	市独自	どのような居場所があれば利用しようと思いますか。	1. 家から近い 2. 趣味・スポーツの場 3. 一緒に食事ができる場 4. 学習の場 5. ボランティア活動の場 6. 仕事のできる場 7. 世代間交流ができる場 8. その他	地域での活動	
問6	Q1	助け合いについて	必須	あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人	1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 5. 近隣 6. 友人 7. その他 8. そのような人はいない	たすけあい	
問6	Q2	助け合いについて	必須	反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人	1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 5. 近隣 6. 友人 7. その他 8. そのような人はいない	たすけあい	
問6	Q3	助け合いについて	必須	あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人	1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 5. 近隣 6. 友人 7. その他 8. そのような人はいない	たすけあい	
問6	Q4	助け合いについて	必須	反対に、看病や世話をしてあげる人	1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 5. 近隣 6. 友人 7. その他 8. そのような人はいない	たすけあい	
問6	Q5	助け合いについて	オプション	家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。	1. 自治会・町内会・老人クラブ 2. 社会福祉協議会・民生委員 3. ケアマネジャー 4. 医師・歯科医師・薬剤師・看護師 5. 地域包括支援センター 6. 市役所 7. その他 8. そのような人はいない	たすけあい	
問6	Q6	助け合いについて	市独自	もしご近所に手助けを必要とする人がいる場合に、あなたはどんな手助けができますか。	1. 買い物 2. 通院の付き添い 3. 外出先への同行 4. 最寄駅までの送迎 5. 洗濯物を干す・取り込む 6. ゴミ出し 7. 電球の取替え 8. 家具などの重い物の移動 9. 調理 10. 安否確認と声掛け 11. 話し相手や相談相手 12. 部屋の掃除・片付け 13. その他 14. 特に困りごとはない	たすけあい	R4新規
問6	Q7	助け合いについて	市独自	もし生活に困りごとができた場合に、近所や地域の人に頼みづらいことは何ですか。	1. 買い物 2. 通院の付き添い 3. 外出先への同行 4. 最寄駅までの送迎 5. 洗濯物を干す・取り込む 6. ゴミ出し 7. 電球の取替え 8. 家具などの重い物の移動 9. 調理 10. 安否確認と声掛け 11. 話し相手や相談相手 12. 部屋の掃除・片付け 13. その他 14. 特に困りごとはない	たすけあい	

No		大設問	種別	設問	回答	分類	備考
問6	Q7-1	助け合いについて	市独自	近所や地域の人に、手伝ってもらいにくい理由は何ですか。	1. 相手がどんな人がわからない 2. トラブルになりそう 3. 恥ずかしい 4. 世間体が気になる 5. あなたの身体的な理由 6. その他	たすけあい	R4新規
問7	Q1	健康について	必須	現在のあなたの健康状態はいかがですか。	1. とてもよい 2. まあよい 3. あまりよくない 4. よくない	健康	
問7	Q2	健康について	必須	あなたは、現在どの程度幸せですか	0点 1点 2点 3点 4点 5点 6点 7点 8点 9点 10点	健康	
問7	Q3	健康について	市独自	あなたは、健康や介護予防、認知症予防のために、普段から取り組んでいることはありますか。	1. 栄養バランスやかむ回数に気をつけて食事をしている 2. 口の中を清潔にしている(歯みがき、うがいなど) 3. 規則的な生活を心がけている(夜更かしをしないなど) 4. 体重を定期的に測っている 5. 定期的な運動を心掛けている 6. 定期的に健康診断を受けたりかかりつけの医師(主治医)に診てもらっている 7. 休養や睡眠を十分にとっている 8. 友人や家族とよく会話をしている 9. 閉じこもらないように外に出る頻度を増やしている 10. その他 11. 特にない	健康	R4新規
問7	Q4	健康について	オプション	お酒は飲みますか。	1. ほぼ毎日飲む 2. 時々飲む 3. ほとんど飲まない 4. もともと飲まない	健康	
問7	Q5	健康について	必須	タバコは吸っていますか。	1. ほぼ毎日吸っている 2. 時々吸っている 3. 吸っていたがやめた 4. もともと吸っていない	健康	
問7	Q6	健康について	必須	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。	1. はい 2. いいえ	健康	
問7	Q7	健康について	必須	この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。	1. はい 2. いいえ	健康	
問7	Q8	健康について	市独自	現在あなたの耳の聞こえの状態はいかがですか。(補聴器をつけている人は、補聴器を外した状態についてお答えください)	1. 普通 2. 普通の声がやっと聞き取れる 3. かなり大きな声なら何とか聞き取れる 4. ほとんど聞こえない	健康	R4新規
問7	Q8-1	健康について	市独自	現在、補聴器を使用していますか。	1. 使用している 2. 持っているが、使用していない 3. 持っていない	健康	R4新規
問7	Q8-2	健康について	市独自	持っていない理由は何ですか。	1. 補聴器は高額だから 2. 補聴器でどのくらい改善されるかわからないから 3. 補聴器を使用することがわずらわしいから 4. 耳が聞こえにくくなっていることを周りに知られたくないから 5. その他	健康	R4新規
問7	Q9	健康について	必須	現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。	1. ない 2. 高血圧 3. 脳卒中(脳出血・脳梗塞等) 4. 心臓病 5. 糖尿病 6. 高脂血症(脂質異常) 7. 呼吸器の病気(肺炎や気管支炎等) 8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気 9. 腎臓・前立腺の病気 10. 筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等) 11. 外傷(転倒・骨折等) 12. がん(悪性新生物) 13. 血液・免疫の病気 14. うつ病 15. 認知症(アルツハイマー病等) 16. パーキンソン病 17. 目の病気 18. 耳の病気 19. その他	健康	

No		大設問	種別	設問	回答	分類	備考
問7	Q10	健康について	市独自	健康や病気のことについて気軽に相談できる「かかりつけ医」などはいいますか。	1. 医師 2. 歯科医師 3. 薬剤師	健康	
問7	Q11	健康について	市独自	あなたが、趣味や交流活動として実施していることはありますか。	1. 図書館・公園・プールなどの身近な施設へ出かけること 2. 近所に買い物に出かけること 3. 国内旅行や海外旅行に行くこと 4. 自分の好きな俳優や劇団などのショーやコンサートに出かけること 5. 野球や相撲などスポーツを観戦すること 6. ジムやフィットネスクラブなどで、身体を動かすこと 7. 囲碁や書道、音楽、絵画、語学など趣味を楽しむこと 8. みんなと一緒に食事をしたり、食事を作ったりして楽しむこと 9. 子どもや孫など家族と一緒に触れあうこと 10. その他	健康	R4新規
問7	Q12	健康について	市独自	自主的に健康診断を受けていますか。	1. はい 2. いいえ	健康	R4新規
問7	Q12-1	健康について	市独自	どれくらいの頻度で健康診断を受けていますか。	1. 1年に1回以上 2. 2年に1回程度 3. 3年に1回程度 4. 4～5年に1回程度	健康	R4新規
問8	Q1	認知症について	必須	あなた自身に認知症の症状がある、または家族に認知症の症状がある人がいますか。	1. はい 2. いいえ	認知症	
問8	Q2	認知症について	市独自	あなたが認知症になったら、どんな支援を期待しますか。	1. 認知症や認知症介護に対する理解 2. あなたの話し相手 3. ご家族の話し相手 4. 集まりの場への受け入れ、誘い 5. 日常生活(買い物など)の手助け 6. ご家族が外出しているときの見守り・声かけ 7. 利用できるサービスに関する説明 8. 医療機関での相談 9. 就労支援 10. その他	認知症	
問8	Q3	認知症について	市独自	あなたの家族が認知症になったら、どんな支援を期待しますか。	1. 認知症や認知症介護に対する支援 2. 認知症ご本人の話し相手 3. あなたの話し相手 4. 認知症ご本人の集まりの場への受け入れ、誘い 5. あなたの集まりの場への受け入れ、誘い 6. 日常生活(買い物など)の手助け 7. あなたが外出しているときの見守り・声かけ 8. 利用できるサービスに関する説明 9. 医療機関での相談 10. 就労支援 11. その他	認知症	
問8	Q4	認知症について	必須	認知症に関する相談窓口を知っていますか。	1. はい 2. いいえ	認知症	
問8	Q4-1	認知症について	市独自	知っている相談窓口はどこですか。	1. 地域包括支援センター 2. 市役所 3. 医療機関(かかりつけ医) 4. 認知症専門医(物忘れ外来等) 5. ケアマネジャー 6. 認知症初期集中支援チーム(チーム・オレンジいばらき) 7. 認知症オレンジダイヤル(認知症地域支援推進員) 8. 民生委員 9. 老人介護家族の会 10. その他	認知症	R4新規
問8	Q5①	認知症について	市独自	「認知症サポーター養成講座」を実施していますが、知っていますか。	1. 知っている 2. 聞いたことはあるが、内容までは知らない 3. 知らない	認知症	
問8	Q5②	認知症について	市独自	「認知症カフェ」(いばらきオレンジかふえ)が市内で実施されていますが、知っていますか。	1. 知っている 2. 聞いたことはあるが、内容までは知らない 3. 知らない	認知症	
問8	Q5③	認知症について	市独自	「認知症介護家族教室」を実施していますが、知っていますか。	1. 知っている 2. 聞いたことはあるが、内容までは知らない 3. 知らない	認知症	
問8	Q5④	認知症について	市独自	「茨木童子見守りシール」を、ご存知ですか。	1. 知っている 2. 聞いたことはあるが、内容までは知らない 3. 知らない	認知症	

No		大設問	種別	設問	回答	分類	備考
問9	Q1	人生の最期について	市独自	人生会議(ACP、アドバンス・ケア・プランニング)について、知っていますか。	1. 知っている 2. 聞いたことはあるが、内容までは知らない 3. 知らない	人生の最期について	R4新規
問9	Q2	人生の最期について	市独自	人生の最期を過ごしたい場所はどこですか。	1. 自宅 2. 介護施設 3. 病院 4. どこでもよい 5. その他 6. わからない	人生の最期について	R4新規
問9	Q3	人生の最期について	市独自	人生の最期をどのように迎えたいか家族と話し合ったことがありますか。	1. 詳しく話し合い、意思表示の書面を作成している 2. 詳しく話し合っているが、意思表示の書面を作成していない 3. 話し合ったことがある 4. まったく話し合ったことがない	人生の最期について	R4新規
問10	Q2	高齢者施策全般について	市独自	あなたは、「成年後見制度」を知っていますか。	1. 内容まで知っている 2. 詳しくは知らないが、おおまかなことは知っている 3. 名称を聞いたことがある程度 4. 知らない	高齢者施策全般	
問10	Q3	高齢者施策全般について	市独自	虐待を受けたと思われる高齢者を発見した場合、どこに相談(通報)されますか。	1. 地域包括支援センター 2. 市役所 3. 警察 4. ケアマネジャー・介護保険事業所職員 5. 社会福祉協議会 6. 民生委員 7. 医師・歯科医師・看護師 8. 自治会・町内会・老人クラブ 9. その他	高齢者施策全般	
問10	Q4	高齢者施策全般について	市独自	高齢者虐待を防止するために、地域ではどのような取り組みが必要と思われますか。	1. 高齢者やその家族が孤立しないよう、近所で声をかけ合う。 2. 虐待が疑われる場合は、すぐに相談(通報)する。 3. 虐待防止についての学習会等に参加する。 4. わからない 5. その他	高齢者施策全般	
検討中	検討中	検討中	市独自	フレイルという言葉を知っていますか	1. 知らない 2. 聞いたことはあるが、意味は知らない 3. 知っているし、意味もだいたいわかる	フレイル認知度	R7新規
検討中	検討中	検討中	市独自	どのくらいの頻度で家庭での血圧測定をしていますか	1. 毎日 2. 週1～2回 3. 月2～3回 4. 測らない	家庭血圧の測定	R7新規
検討中	検討中	検討中	市独自	1. (スマートフォンを使用している方に対して)スマホでどのような機能を利用していますか。	・電話 ・メール ・メッセージアプリ ・カメラで写真や動画を撮影する ・インターネットで情報を調べる ・地図を見る。目的地までの案内に利用する ・SNS(Facebook、Xなど)を利用する ・インターネットで買い物をする ・(他にもあれば) ・その他()	スマートフォンの利用	R7新規
検討中	検討中	検討中	市独自	2. 1. で選択した以外で今後どのような機能を利用したいですか。	・電話 ・メール ・メッセージアプリ ・カメラで写真や動画を撮影する ・インターネットで情報を調べる ・地図を見る。目的地までの案内に利用する ・SNS(Facebook、Xなど)を利用する ・インターネットで買い物をする ・(他にもあれば) ・その他()	スマートフォンの利用	R7新規
検討中	検討中	検討中	市独自	3. 現在利用している機能以外の利用をしない理由は何ですか。	・どのような機能があるのかわからないから ・使いたいと思う機能がないから 使いたい機能() ・使いこなせないと思うから ・操作を間違っなどで、意図しない契約や詐欺等のトラブルになると怖いから ・利用することで費用がかかると困るから	スマートフォンの利用	R7新規
検討中	検討中	検討中	市独自	4. 市ではスマホ等の使い方を説明する教室や使い方の疑問について相談をお受けする事業を実施しています。 どのような条件であれば利用したいですか。	・会場までの距離が遠くないこと 徒歩10分以内(自転車では4分くらい) 徒歩20分以内(自転車では7分くらい) ・会場がスーパーなどの商業施設内であること ・申込が要らないこと ・(他にもあれば) 利用しない理由 ・家族に聞いたり自分で調べたりして疑問を解決することができるから ・知らない機能はあるが、今以上に知りたいことがないから	スマートフォンの利用	R7新規

No		大設問	種別	設問	回答	分類	備考
検討中	検討中	検討中	市独自	終活について、現在、不安に思うことはありますか。	(複数選択可) 1. 家財の整理・処分 2. 緊急時における親族等への連絡方法 3. 老後の資金・住まい 4. 自分が受ける介護や医療 5. 病院・高齢者施設等への入院・入所時の手続きや身元保証 6. 不安に思っていることはない 7. 何をしておくべきかわからない 8. その他	終活	R7新規
検討中	検討中	検討中	市独自	終活について、ご自身が亡くなられた後のことで不安に思うことはありますか。	(複数選択可) 1. 財産の相続 2. 葬儀等の手配 3. 亡くなられた後の電気・電話・住居等の解約手続きや身元保証 4. ペットの世話 5. お墓のこと 6. 不安に思っていることはない 7. 何をしておくべきかわからない 8. その他	終活	R7新規
検討中	検討中	検討中	市独自	終活に関わることで、興味がある制度や利用したいものはありますか。	(複数選択可) 1. もしもに備えて、自分の医療・財産情報等を書きこむノート 2. もしもに備えて、自分の緊急先や医療機関情報を行政等に登録しておく制度 3. 自分の代わりに第三者が生前中に財産管理や身元保証をしてくれる制度 4. 事前に契約の上、死後の手続きを第三者にお願いしておく制度 5. 終活について説明してくれるセミナー	終活	R7新規
検討中	検討中	検討中	市独自	もしもに備えて、事前に準備しておきたいと思っているが、できていないことはありますか。	(複数選択可) 1. 家財の整理・処分等の身辺整理 2. 銀行口座の暗証番号や印鑑の場所を誰かにつたえておく 3. 保険の確認や見直し 4. 遺言書の作成 5. 家族や親しい友人へのメッセージ 6. 受けたい介護や治療について、意思表示をしておく(延命治療はしない等) 7. 喪主の希望、葬儀の形式 8. ペットの預け先 9. 自分の医療・財産情報等を書きこむノートの作成 10. その他	終活	R7新規
検討中	検討中	検討中	市独自	上記設問で○をつけた方にお伺いします。準備できていない理由は何ですか。	(複数選択可) 1. 時間的な余裕がない 2. どうやって取り組めばいいかわからない 3. その他	終活	R7新規
検討中	検討中	検討中	市独自	通院が困難になった時、定期的に自宅等へ訪問診療をしてもらう「在宅医療」について知っていますか	1 知っている 2 聞いたことはあるが具体的には分からない 3 知らない	在宅医療の認知度と利用	R7新規
検討中	検討中	検討中	市独自	将来、通院が困難になった時に、在宅医療を受ける選択肢があれば利用したいと思いますか？	1. 利用したい 2. 利用したくない(なるべく通院したい) 3. 利用したくない(入院・施設入居を考える) 4. わからない	在宅医療の認知度と利用	R7新規
検討中	検討中	検討中	市独自	在宅医療に対してどのような印象がありますか。(複数回答可)	1 医師や看護師が自宅に来てくれる 2 自分の慣れている場所で過ごせる 3 通院の移動手段の手配や費用負担が減る 4 通院に付き添う家族の負担が減る 5 急な体調不良の時に利用するものである 6 通院に比べて受けられる治療が限られている 7 利用の仕方がわからない 8 かかりつけ医が変わってしまうことには抵抗がある 9 費用が高額になる 10 自宅に人が来ることに抵抗がある 11 特にない 12 その他()	在宅医療の認知度と利用	R7新規
検討中	検討中	検討中	市独自	容体の急変等、「もしもの時」に備えた意思表示(受けたい介護や治療(延命治療を希望するかどうか等))について、考えたことはありますか。	1. 考えていて、意思表示の書面を作成している 2. 考えているが、意思表示の書面は作成していない 3. 何から考えたらいいかわからない 4. 「もしもの時」について考えたことがない 5. 家族は考えているが本人が考えているかどうか不明	医介連携	R7新規
検討中	検討中	検討中	市独自	容体の急変等の「もしもの時」に備えた意思表示(受けたい介護や治療(延命治療を希望するかどうか等))について、家族や関係者(主治医・ケアマネジャー等)と共有していますか。	1. 家族や関係者と共有している 2. 家族とのみ共有している 3. 関係者とのみ共有している 4. まったく共有していない 5. 「もしもの時」について考えたことがない。	医介連携	R7新規

「在宅介護実態調査」アンケート項目（案）

※「必須項目」は国から示された項目のため設問・回答の変更不可。「オプション項目」も同様。

No	大設問	種別	設問	回答	分類	備考
【A票】調査対象者本人について、お伺いします。						
問1	回答者の属性	必須	(新規) 性別について、ご回答ください。	1. 男性 2. 女性	本人の属性	
問2	回答者の属性	必須	(新規) 年齢について、ご回答ください。	1. 65歳未満 2. 65～69歳 3. 70～74歳 4. 75～79歳 5. 80～84歳 6. 85～89歳	本人の属性	
問3	回答者の属性	市独自	(新規) お住いの町名を教えてください。	(町・丁目を記入)	本人の属性	R4新規
問4	回答者の属性	必須	(新規) 要介護度について、ご回答ください。	1. 要支援1 2. 要支援2 3. 要介護1 4. 要介護2 5. 要介護3 6. 要介護4 7. 要介護5 8. わからない	本人の属性	
問5	回答者の属性	必須	現在、この調査票にご回答をいただいているのはどなたですか	1. 調査対象者本人 2. 主な介護者となっている家族・親族 3. 主な介護者以外の家族・親族 4. 調査対象者のケアマネージャー 5. その他	本人の属性	
問6	回答者の属性	必須	世帯類型についてご回答ください。	1. 単身世帯 2. 夫婦のみ世帯 3. その他	本人の属性	
問7	回答者の属性	市独自	介護・介助が必要になった主な原因は何ですか	1. 脳卒中(脳出血・脳梗塞等) 2. 心臓病 3. がん(悪性新生物) 4. 呼吸器の病気(肺気腫・肺炎等) 5. 関節の病気(リウマチ等) 6. 認知症(アルツハイマー病等) 7. パーキンソン病 8. 糖尿病 9. 腎疾患(透析) 10. 視覚・聴覚障害 11. 骨折・転倒 12. 脊椎損傷 13. 高齢による衰弱 14. その他 15. 不明	介護・介助が必要になった原因	R4新規
問8	回答者の属性	必須	現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。	1. 入所・入居は検討していない 2. 入所・入居を検討している 3. すでに入所・入居申し込みをしている	入所・入居の予定	
問9	回答者の属性	必須	令和7年10月の1か月の間に、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の)介護保険サービスを利用しましたか	1. 利用した 2. 利用していない	介護保険サービスの利用	
問10	回答者の属性	必須	A.「訪問介護(ホームヘルプサービス)」の1週間当たりの利用回数	1. 0回 2. 1回 3. 2回 4. 3回 5. 4回 6. 5回以上	介護保険サービスの利用	
		必須	B.「訪問入浴介護」の1週間当たりの利用回数	1. 0回 2. 1回 3. 2回 4. 3回 5. 4回 6. 5回以上	介護保険サービスの利用	
		必須	C.「訪問看護」の1週間当たりの利用回数	1. 0回 2. 1回 3. 2回 4. 3回 5. 4回 6. 5回以上	介護保険サービスの利用	

No	大設問	種別	設問	回答	分類	備考
		必須	D.「訪問リハビリテーション」の1週間当たりの利用回数	1. 0回 2. 1回 3. 2回 4. 3回 5. 4回 6. 5回以上	介護保険サービスの利用	
		必須	E.「通所介護(デイサービス)」の1週間当たりの利用回数	1. 0回 2. 1回 3. 2回 4. 3回 5. 4回 6. 5回以上	介護保険サービスの利用	
		必須	F.「通所リハビリテーション(デイケア)」の1週間当たりの利用回数	1. 0回 2. 1回 3. 2回 4. 3回 5. 4回 6. 5回以上	介護保険サービスの利用	
		必須	G.「夜間対応型訪問介護(訪問のあった回数を回答)」の1週間当たりの利用回数	1. 0回 2. 1回 3. 2回 4. 3回 5. 4回 6. 5回以上	介護保険サービスの利用	
		必須	H.「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」の利用の有無	1. 利用していない 2. 利用した	介護保険サービスの利用	
		必須	I.「小規模多機能型居宅介護」の利用の有無	1. 利用していない 2. 利用した	介護保険サービスの利用	
		必須	J.「看護小規模多機能型居宅介護」の利用の有無	1. 利用していない 2. 利用した	介護保険サービスの利用	
		必須	K.「ショートステイ」の1か月あたりの利用日数	1. 0回 2. 1～7日 3. 8～14日 4. 15～21日 5. 22日以上	介護保険サービスの利用	
		必須	L.「居宅療養管理指導」の1か月あたりの利用回数	1. 0回 2. 1回 3. 2回 4. 4回	介護保険サービスの利用	
問11	回答者の属性	必須	ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか	1. ない 2. 家族・親族の介護はあるが、週に1日より少ない 3. 週に1～2日ある 4. 週に3～4日ある 5. ほぼ毎日ある	家族からの介護の頻度	
			【B票】主な介護者の方について、お伺いします。			
問1	主な介護者について	必須	ご家族やご親族の中で、ご本人様の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか	1. 主な介護者が仕事を辞めた(転職を除く) 2. 主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた(転職除く) 3. 主な介護者が転職した 4. 主な介護者以外の家族・親族が転職した 5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない 6. わからない	介護者の就労状況	
問2	主な介護者について	必須	主な介護者の方の年齢について、ご回答ください	1. 20歳未満 2. 20代 3. 30代 4. 40代 5. 50代 6. 60代 7. 70代 8. 80代以上 9. わからない	介護者の年齢	
問3	主な介護者について	市独自	どのくらいの期間、介護をされていますか	1. 1年未満 2. 1～2年 3. 2～3年 4. 3～4年 5. 4～5年 6. 5～6年 7. 6～7年 8. 7～8年 9. 9～10年 10. 10年以上	介護期間	R4新規
問4	主な介護者について	市独自	主な介護者を含め、家族の何人で看ていますか(ヘルパーを含まない)	1. 1人 2. 2人 3. 3人 4. 4人 5. 5人以上	介護者の人数	R4新規

No	大設問	種別	設問	回答	分類	備考
問5	主な介護者について	必須	現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が特に不安に感じる介護等について、お答えください。	1. 日中の排泄 2. 夜間の排泄 3. 食事の介助（食べる時） 4. 入浴・洗身 5. 身だしなみ（洗顔・歯磨き等） 6. 衣服の着脱 7. 屋内の移乗・移動 8. 外出の付き添い・送迎等 9. 服薬 10. 認知症状への対応 11. 医療面での対応（経管栄養、ストーマ等） 12. 食事の準備（調理等） 13. その他の家事（掃除、洗濯、買い物等） 14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き 15. その他 16. 不安に感じていることは、特にない 17. 主な介護者に確認しないと、わからない		
問6	主な介護者について	市独自	今後介護を続けていくにあたって、介護者自身の不安について、ご回答ください	1. 肉体的に、いつまで介護を続けることができるのか分からないこと 2. 精神的に、いつまで介護を続けることができるのか分からないこと 3. 介護にいくらお金がかかるのか分からないこと 4. 自分の収入が減るかもしれないこと 5. 自分の時間や楽しみが減るかもしれないこと 6. 住み慣れた家で生活をするのができなくなるかもしれないこと 7. 友人と今までのように交流できなくなるかもしれないこと 8. 頼る人がいなくなるかもしれないこと 9. その他 10. 不安に感じていることは、特にない	介護者自身の不安	R4新規
問7	主な介護者について	市独自	介護者自身の困りごとの相談相手について、ご回答ください	1. 家族 2. 友人・知人 3. 職場の上司や同僚 4. 地域包括支援センター 5. 市役所 6. ケアマネジャー 7. 相談できない 8. その他 9. 相談相手はいない	介護者の相談相手	R4新規
問8	主な介護者について	必須	主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください。	1. フルタイムで働いている 2. パートタイムで働いている 3. 働いていない 4. 主な介護者に確認しないと、わからない	介護者の勤務形態	
問9	主な介護者について	必須	問8で「1」または「2」（働いている）と回答した方にお伺いします。 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか	1. 特に行っていない 2. 介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早出・中抜け等）」しながら、働いている 3. 介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている 4. 介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている 5. 介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている 6. 主な介護者に確認しないと、わからない。	介護者の勤務形態	
問10	主な介護者について	必須	問8で「1」または「2」（働いている）と回答した方にお伺いします。 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか	1. 問題なく、続けていける 2. 問題はあるが、何とか続けていける 3. 続けていくのは、やや難しい 4. 続けていくのは、かなり難しい 5. 主な介護者に確認しないと、わからない	介護者の今後の勤務形態	
問11	主な介護者について	市独自	働いていない理由について、ご回答ください	1. 働いていたが、介護のために退職した 2. 働きたかったが、介護のために就職できなかった 3. 介護する前から働いてなかった（就職する予定はなかった） 4. 大学・高校などに通学しながら介護を行っている 5. その他	介護者が働いていない理由	R4新規
問12	主な介護者について	市独自	介護が終了した後の介護者ご自身の生活について、考えられていることはありますか	1. 仕事をする予定 2. 仕事はしない予定 3. 現時点では考えていない	介護者の今後の生活について	R4新規
検討中	検討中	市独自	介護者に対する支援で必要なもの	1. 介護者同士の交流の場 2. 介護のコツを学べる介護教室 3. 介護後に関する相談支援の充実 4. 介護に関する情報提供の充実 5. その他 6. 無回答	主な介護者について	R7新規

No	大設問	種別	設問	回答	分類	備考
検討中	検討中	市独自	1 通院が困難になった時、定期的に自宅等へ訪問診療をしてもらう「在宅医療」について知っていますか	1 知っている 2 聞いたことはあるが具体的には分からない 3 知らない	在宅医療の認知度と利用	R7新規
検討中	検討中	市独自	2 在宅医療を利用していますか	1. 現在利用している 2 以前利用していたことがある 3 利用したことはない	在宅医療の認知度と利用	R7新規
検討中	検討中	市独自	3(問2で1, 2と回答した方に伺います) 在宅医療を受診している(受診していた)要因は何ですか	1. 脳卒中(脳出血・脳梗塞等) 2. 心臓病 3. がん(悪性新生物) 4. 呼吸器の病気(肺気腫・肺炎等) 5. 関節の病気(リウマチ等) 6. 認知症(アルツハイマー病等) 7. パーキンソン病 8. 糖尿病 9. 腎疾患(透析) 10. 視覚・聴覚障害 11. 骨折・転倒 12. 脊椎損傷 13. 高齢による衰弱 14. その他 15. 不明	在宅医療の認知度と利用	R7新規
検討中	検討中	市独自	4 将来外来への通院が困難となった時に、在宅医療を受ける選択肢があれば利用したいと思いますか？	1. はい 2. いいえ 3. わからない	在宅医療の認知度と利用	R7新規
検討中	検討中	市独自	5 在宅医療に対してどのような印象がありますか。 (複数回答可)	1 医師や看護師が自宅に来てくれる 2 自分の慣れている場所で過ごせる 3 通院の移動手段の手配や費用負担が減る 4 通院に付き添う家族の負担が減る 5 急な体調不良の時に利用するものである 6 通院に比べて受けられる治療が限られている 7 利用の仕方がわからない 8 かかりつけ医が変わってしまうことには抵抗がある 9 費用が高額になる 10 自宅に人が来ることに抵抗がある 11 特にな 12 その他()	在宅医療の認知度と利用	R7新規
検討中	検討中	市独自	6 過去10年ほどの間に入院したことはありますか。その際、退院時に困ったことはありましたか。 (複数選択可)	1 過去約10年の間に入院したことはない。 2 介護認定に時間がかかった 3 介護保険サービスの利用方法が分からなかった 4 思っていたより早く退院させられた 5 在宅介護や在宅医療の準備が間に合わなかった 6 かかりつけ医に入院・退院を伝えるタイミングがわからなかった 7 退院後に望んだ場所に行けなかった 8 退院時に病院からの十分な説明が得られなかった 9 退院後の生活について、自分の希望を伝える機会がなかった 10 その他() 11 特になし	在宅医療の認知度と利用	R7新規
検討中	検討中	市独自	7 容体の急変等、「もしもの時」に備えた意思表示(受けたい介護や治療(延命治療を希望するかどうか等))について、考えたことはありますか。	1. 考えていて、意思表示の書面を作成している 2 考えているが、意思表示の書面は作成していない 3 何から考えたらいいかわからない 4 「もしもの時」について考えたことがない 5 家族は考えているが本人が考えているかどうか不明	在宅医療の認知度と利用	R7新規
検討中	検討中	市独自	8 容体の急変等の「もしもの時」に備えた意思表示(受けたい介護や治療(延命治療を希望するかどうか等))について、家族や関係者(主治医・ケアマネジャー等)と共有していますか。	1. 家族や関係者と共有している 2. 家族とのみ共有している 3. 関係者とのみ共有している 4. まったく共有していない 5. 「もしもの時」について考えたことがない。	在宅医療の認知度と利用	R7新規
検討中	人生の最期について	市独自	人生会議(ACP、アドバンス・ケア・プランニング)について、知っていますか。	1. 知っている 2. 聞いたことはあるが、内容までは知らない 3. 知らない	人生の最期について	R7新規
検討中	人生の最期について	市独自	人生の最期を過ごしたい場所はどこですか。	1. 自宅 2. 介護施設 3. 病院 4. どこでもよい 5. その他 6. わからない	在宅医療の認知度と利用	R7新規
検討中	人生の最期について	市独自	人生の最期をどのように迎えたいか家族と話し合ったことがありますか。	1. 詳しく話し合い、意思表示の書面を作成している 2. 詳しく話し合っているが、意思表示の書面を作成していない 3. 話し合ったことがある 4. まったく話し合ったことがない	人生の最期について	R7新規

「介護保険事業者調査」アンケート項目（案）

※すべて市独自で設定した設問です

No	設問	回答	分類	備考
問1	法人名	(記入)	回答者の属性	
	代表所在地	(記入)	回答者の属性	
	法人種別	1. 医療法人 2. 社会福祉法人 3. 社団法人 4. 農協・生協 5. 株式会社 6. 有限会社 7. NPO法人 8. その他	回答者の属性	
	記入者	(氏名、役職、連絡先を記入)	回答者の属性	
問2	サービス提供に対する自己評価について、全体的にサービスは利用者のニーズに応じて提供されていると思いますか	1. 十分提供できている 2. どちらかといえば提供できている 3. どちらかといえば提供できていない 4. 提供できていない	サービス提供に対する自己評価	
問3	貴法人独自で介護保険サービス以外の事業を実施していますか	1. お泊まりデイサービス 2. 買い物等のための送迎、移送 3. 配食(市からの委託を除く) 4. その他 5. 実施していない	介護保険サービス以外	
問4	貴法人の運営やサービスの向上のために、どのような情報や支援が必要ですか	1. 介護保険制度・介護報酬等に関する情報 2. 介護保険以外の保健・福祉サービスに関する情報 3. 情報提供・相談等の窓口 4. 介護技術・方法に関する情報 5. 認知症ケアに関する情報 6. 医療処置を必要とする場合のケアに関する情報 7. 困難事例、多問題事例に関する情報 8. 介護予防に関する情報 9. 研修・講座等に関する情報 10. 事業所連絡会等に関する運営サポート、バックアップ 11. ケアカンファレンス等の運営サポート、バックアップ 12. サービス展開のための土地・建物に関する情報 13. 感染症や災害対策に関する情報 14. その他 15. 特に必要な情報はない	運営やサービスの向上のため 情報や支援	
問5	医療機関との連携について、法人として取り組んでいることがありますか	1. 医療機関から利用者の健康管理や処置について助言を受けている 2. 往診をしてくれる医師・医療機関がある 3. 急変時の受入を依頼できる病院を確保している 4. 提携病院があり、一般的な入院を受け入れてもらっている 5. その他 6. 法人としての取組はなく、各事業所に任せている 7. 自らもしくは法人として医療機関を経営しており、連携の問題はない	医療機関との連携	
問6	医療機関との連携について、困難に感じることはありますか	1. ない 2. ある	医療機関との連携	
問7	医療ニーズの高い利用者を受け入れていますか	1. 受け入れていない 2. 受け入れている	医療ニーズの高い利用者	
問8	看取りの体制を整備していますか	1. 整えていない 2. 整えている	看取りの体制	
問8-1	看取りができない(困難な)理由について、ご記入ください	(記入)	看取りの体制	R4新規
問8-2	令和3年4月から令和4年3月末までの施設(事業所)での看取りに係わった実人数を教えてください	(記入)	看取りの体制	
問9	令和3年度における介護職員の採用状況を教えてください	(正規職員の人数を記入、年齢別人数を記入) (正規職員以外的人数を記入、そのうち常勤数、非常勤数を記入、年齢別人数を記入)	介護職員の採用状況	

No	設問	回答	分類	備考
問10	令和3年度における介護職員の離職状況を教えてください	(正規職員の人数を記入、年齢別人数を記入、勤続年数別人数を記入) (正規職員以外的人数を記入、そのうち常勤数、非常勤数を記入、年齢別人数を記入、勤続年数別人数を記入)	介護職員の離職状況	
問11	外国人介護職員の採用状況について教えてください	1. 受け入れていない 2. 検討している 3. 受け入れを停止している 4. 受け入れている	外国人介護職員の採用状況	
問12	職員の処遇向上のために取り組んでいることはありますか	1. 職員の増員による負担の軽減 2. 夜勤の見直し等労働条件の改善 3. 昇給又は昇進要件の明確化 4. 正規職員への転換機会の確保 5. 定期的なミーティング等コミュニケーションの充実 6. 腰痛対策、メンタルヘルスクー等健康管理の充実 7. 出産・子育て・介護を行う職員の支援強化 8. ICT・介護ロボットの活用 9. その他 10. 実施していない(実施予定なし)	職員の処遇向上	
問13	利用者に対する虐待の発生を防ぐための対策がなされていますか	1. 虐待の防止のための対策を検討する委員会を定期的に開催し、その結果について、事業所の職員に周知している 2. 虐待の防止のための指針を整備している 3. 事業所の職員に対して、虐待の防止のための研修を定期的に実施している 4. 虐待の防止のための担当者を置いている 5. その他	職員のキャリアアップ	
問14	利用者の人権や虐待防止に関する研修を年に一度以上実施していますか	1. 実施している 2. 実施していない	研修の実施	R4新規
問15	事業所でのICTの推進について、その体制は整備できていますか	1. 設備・人員ともに整備できている 2. 設備は整っているが人員が不足している 3. 人員は整っているが設備が不足している 4. 設備・人員ともに整備できていない	ICTの推進	R4新規
問16	市ではケア倶楽部で情報を発信していますが、どれくらいの頻度でケア倶楽部を閲覧していますか	1. 毎日確認している 2. 更新通知があったら確認する 3. 週に一回程度 4. 閲覧していない 5. その他	ケア倶楽部の閲覧頻度	R4新規
問17	その他、ご意見やご要望などお気づきのことがありましたらご記入ください	(自由記述)	意見・要望	

第 10 期計画策定に向けた市民アンケート概要（案）

◆ 「令和 7 年度茨木市の保健福祉に関するアンケート」の質問項目について

- ・ 国から示された基本項目（必須＋オプション）に加え、市独自の質問項目を追加します。
- ・ 国の施策と本市の方向性を反映し、かつ回答者の負担とならないことをめざし、調査項目を検討します。

◆ 調査実施時期（共通）…令和 7 年 11 月から 1 か月程度（予定）

◆ 対象者の抽出方法

- ・ 【ニーズ調査・在宅介護実態調査】
層化無作為抽出※により、調査対象に偏りが出ないように抽出を行います。
（※日常生活圏域、性別、年齢、区分のそれぞれができるだけ均等となるよう調整）
- ・ 【介護事業者調査】
市内で介護サービスを提供している全事業所を対象とする

◆ 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

調査の目的	身体等リスクや社会参加状況の把握、地域診断に関して調査するほか、地域における課題を特定する
調査対象	要介護認定を受けていない高齢者及び要支援認定者：3,000 人 回収率（前回）：76.1%
調査方法	郵送配付・郵送回答＋オンライン回答
調査項目	【前回】基本調査（42）＋オプション（8）＋市独自（50）＝計 100 項目

◆ 在宅介護実態調査

調査の目的	「高齢者等の適切な在宅生活の継続」と「家族等介護者の就労継続」に有効なサービス利用のあり方やサービス整備の方向性を検討する
調査対象	在宅介護サービス利用者：2,000 人 回収率（前回）：64.5%
調査方法	郵送配付・郵送回答＋オンライン回答＋訪問調査員による聞き取り
調査項目	【前回】基本調査（26）＋オプション（0）＋市独自（9）＝計 35 項目

◆ 介護保険事業者調査（介護人材実態調査）

調査の目的	介護保険サービス等の参入意向や介護事業所の雇用実態などを把握し、介護人材の確保・定着等に向けた支援策を検討する
調査対象者	市内の介護サービス提供事業者 回収率（前回）：55.3%
調査方法	郵送配付・オンラインによる回答
調査項目	【前回】市独自項目 計 18 項目

◆ 前回調査から追加するアンケート項目（案）

- ・ 終活、高齢者の就職支援、医介連携、ICT機器の活用、などを中心に検討中

◆ 調査結果の活用

- ・ 計画に定めた「取組と目標」の進捗管理、地域課題の把握、次期計画の目標設定・分析・議論の材料等
- ・ 市町村間でのデータ比較のほか、市内各圏域間でのデータ比較を行い、地域包括支援センターなどがその地域特有の課題を認識し、対応するための基礎資料として活用することも想定